

2019・8・1

ゆりかご えんだより

2期(6~9月)のねらい

からだづくり活動を通して子ども関係の
質を高めよう

ゆりかご保育園の金曜日の給食は魚や煮物といったおかずに、ごはんのみそ汁がつく純和風な献立になります。異年齢クラス(3~5さい)にはこの春から仲間入りした外国籍の子もいるので、時々食べている様子を見に行っています。

この日はサンマといんげんの炒め煮、もやしナムル、白菜と玉ねぎのみそ汁という献立でした。箸を操作しおいしそうに食べています。なじみのない外国の子には抵抗があるのでは?と思ったみそ汁は「おいしいおいしい」とお替わりです。サンマの骨も手で上手に取り除き食べていました。「お家にも箸あるんだよ」と「どう?上手に使用しているでしょう」というような表情です。子どもってすごいなあ、異国の文化にこんなにも適応できるのだなあと感じしきり。

さて、国はこの10月から、3~5さいまでのすべての子どもと非課税世帯の0~2さいの子どもの保育料を無償化することにしました。それに伴い、保育料から給食食材費を切り離し、現在の主食費同様3~5さい(2号認定)の副食の食材費を保護者に負担してもらい、各施設がその費用を徴収するという方針を出しました。年収360万円未満相当世帯の子どもや、所得階層にかかわらず第3子以降の子ども、ひとり親家庭等のD01~D02階層の方は副食費の徴収が免除されます。徴収免除対象者にかかる副食費は国の公費負担となります。兵庫県の加西市や明石市では3~5さいの副食費を実費徴収せず無料に、秋田県は独自に副食費助成制度を創設するそうです。道でも20以上の市町村が無料の方向を示しています。先日札幌市の説明会に出ましたが、残念ながら国の方針通り各施設が保護者から徴収するそうです。

市は公定価格に副食代4500円が含まれていると言説明しています。市の統一献立を使っている施設の多くは、目安となる4500円を徴収すると思われれますが、ゆりかごの場合は独自献立を使用しています。今後父母の会と相談し、副食代の客額を決めたいと思います。

子どもにとって給食・おやつは保育と切り離せない重要なものです。外国籍の子にも「おいしい」と言ってもらえる現在の給食の質を落とすことなく、保護者も園も混ざらない方向にしたいと思います。